

決されました。

役員については、次の方々が理事、監事に就任されました。任期は2年です。

なお、総会閉会后に理事会を開催し執行役員や活動基本方針及び行動宣言などが議決されました。

《総会議題》

- 議案第1号 令和3年度事業報告並びに同決算書の承認について
- 議案第2号 令和4年度入会金及び会費（案）の承認について
- 議案第3号 役員の報酬等の総額を定める規程の一部変更（案）について
- 議案第4号 定款の一部変更（案）について
- 報告事項1 令和4年度事業計画並びに同予算書について
- 議案第5号 役員の改選について

《新役員》

会長	皆川 雅文	(南会津支部長、(株)皆川測量)	
副会長	木町 元康	(いわき支部長、(株)東日本建設コンサルタント)	
副会長	安藤 浩規	(県北支部長、(有)安藤測量設計事務所)	
副会長	阿部 充宏	(県中支部長、阿部測量(株))	【新任】
専務理事	佐藤 善治	(員外)	
理事	菊池 幸治	(株)阿部測量設計事務所)	
理事	小池 保弘	(株)日本測地コンサルタント)	【新任】
理事	鈴木 俊雄	(県南支部長、(株)菊池測量設計)	
理事	大塚 修一	(会津若松支部長、(株)ダイエツ)	
理事	飯塚 幸知	(喜多方支部長、(株)光進都市コンサルタント)	【新任】
理事	高橋 肇	(日栄地質測量設計(株))	【新任】
理事	天野 賀夫	(相双支部長、(株)福建コンサルタント)	【新任】
監事	安斎 善信	(株)エースコンサルタント)	
監事	小椋 雄一	(株)ミモリ技建)	【新任】
監事	伊藤 吉治	(公認会計士、員外)	



左から、佐藤専務理事、阿部副会長、木町副会長、安藤副会長、皆川会長

【協会表彰について】

第56回総会にあわせて、退任役員3名への感謝状贈呈及び永年勤続優良職員24名の表彰をしました。なお、永年勤続優秀職員への伝達は各社から行われます。

◆ 退任役員への感謝状贈呈

人見達男氏（株大進精測）、小林新一氏（株コウキコンサルタント）、遠藤秀文氏（株ふたば）



◆ 永年勤続優良職員

40年表彰

県 中	陸奥テックコンサルタント(株)	橋本 英次
南 会 津	(株)皆川測量	小山 キクヨ

30年表彰

県 北	渡辺エンジニアリング(株)	三代 雅博
県 中	(株)建設相互測地社	野口 徹雄
県 中	(株)建設相互測地社	星 久美子
県 南	(株)建協測量設計	水野谷 孝

20年表彰

県 北	(株)佐藤測量設計	大槻 旭洋
県 北	渡辺エンジニアリング(株)	渡辺 敬之
県 中	陸奥テックコンサルタント(株)	今村 元
県 南	(株)藤建技術設計センター	会沢 勝

10年表彰

県 中	昭和技術設計(株)	熊田 光喜
県 中	昭和技術設計(株)	神尾 大地
県 中	昭和技術設計(株)	加藤 祥子
県 中	(株)東日路政コンサルタント	大須賀 歩美
県 中	(株)東日路政コンサルタント	橋本 珠実
県 中	陸奥テックコンサルタント(株)	千葉 慎二
県 中	陸奥テックコンサルタント(株)	吾妻 直紀
県 中	(株)み・らいとコンサルティング	松本 英幸

県 南	(株)藤建技術設計センター	仁井田 敏英
南 会 津	(株)皆川測量	湯田 真二
相 双	(株)大和田測量設計	遠藤 亜矢子
相 双	(株)大和田測量設計	小松 佳澄
相 双	(株)大和田測量設計	蔵野 了
相 双	(株)大和田測量設計	愛川 寛子

【建産連会長表彰について】

一般社団法人福島県建設産業団体連合会の第38回通常総会が6月1日に開催され、あわせて令和4年度建産連会長表彰者が発表されました。当協会からは、(株)ふたばの四條眞樹氏が受賞されております。

例年は総会において、表彰式が執り行われますが新型コロナウイルス感染防止のため、所属会社より伝達いたしました。



活動基本方針及び行動宣言

私たちは、今まで活動してきた歴史と伝統を基礎とし、これからも郷土の発展に寄与することを誓い、下記のとおり活動基本方針を制定し行動宣言のとおり実践します。

記

【活動基本方針】

(県土づくりへの貢献)

- 1 絶え間ない技術向上を図り、災害に屈しない強靱な県土づくりに貢献し、県民の安全安心と県内産業の発展に寄与します。

(担い手の確保)

- 2 働きやすい環境を創出し、地域の雇用を守りつつ測量設計業の担い手の確保と育成を促進します。

(郷土の発展への貢献)

- 3 地域づくり活動に積極的に参加し、郷土の発展と生活環境改善に貢献します。

【行動宣言】

私たちは、活動基本方針に定めた目標を実現するため、できることから始めることとし、次の行動を実践します。

- 1 私たちは、常に新しい技術に関心を持ち技術の研鑽に励みます。
- 1 私たちは、有する専門知識を積極的に活用し地球環境の保全と持続可能な社会づくりに貢献します。
- 1 私たちは、異常気象等による公共施設災害の発生に備え、災害協定に基づく被害状況調査に即応できるよう体制づくりに努めます。
- 1 私たちは、常に現場の声を重視し、職場環境の改善に努めます。
- 1 私たちは、地域とともに活動し、郷土の賑わいと住みやすい環境づくりに貢献します。

令和4年5月24日制定